



【会長の挨拶】



押上一丁目仲町会  
町会長 高橋邦夫

このところ梅雨に入りはつきりしない毎日が続いておりますが、町会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

町会の皆様には、いつも町会の運営にご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さる五月十五日に平成二十二年度の定期総会が開催されました。この総会におきまして、懸案事項でありました副会長の増員として大橋由明さん、峯岸壮吉さんの両名の就任が承認され、これからの町会発展のためにご尽力いただくことになりました。なお、お二人には現在の役職を兼務していただくこととなります。

さて東京スカイツリーも第一展望台の工事に入り高さも三百九十八メートルになりました。きれいな姿に変わってきました。七月末には恒例の隅田川花火大会も重なり、今後はますます見学者が多くなる事が予想されます。

従来はあまり車の通らなかつた裏道にも車が入ってくるようになりましたので、くれぐれも交通事故に遭わぬようご注意ください。

東京スカイツリーに関連して、町内に東京スカイツリーの押上地区インフォメーションコーナーが開設

押上一丁目仲町会広報部

第四十五号

編集責任者 山本 勝信

平成二十二年六月三十日

される運びとなり、七月中旬頃よりサービスクレジットの予定となります。

ところで、この秋には当町会の大きなイベントとして飛木稲荷神社の大祭があり、祭礼委員長として心を引き締め、準備に取り組んでおります。また、押上一丁目町会と合同の防災訓練が予定されております。各役員の方々、町会の皆様にはよろしくご協力の程お願い申し上げます。

【総務部】

大橋由明

過月開催されました平成二十二年度定期総会において、任期途中の追加選考で町会副会長の要職を兼任するよう承認されました大橋由明（第六部）です。あまりにも大役なので緊張と身震いを起こしそうな興奮の連続です。事務的な作業は、総務部長職で大分慣れてきたように思う今日この頃ですが、その上に副会長職の兼任は、余りにも重職すぎて、体が押しつぶされそうな感じがします。

総務部の仕事内容は、昨年度と同様に解決してゆきますが、本年度は、特に飛木稲荷神社の「大祭」年にあたりますので高橋邦夫町会長様はじめ、町会役員が一丸となって対処する方針です。祭礼委員会も設置されまして祭礼役員も徐々に決定されておりますが、祭礼役員に選出された際には、皆様の絶大なご協力と強力なご支援のほどを宜しくお願い申し上げます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

【婦人会】

大泉弘子

皆様には、日頃より婦人会活動に深いご理解・ご協力をいただきましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。

本年度、会長の重任をお受けしました大泉と申します。大橋前会長にいろいろお話を伺いながら活動を進めて参りたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

早いもので今年も半年が過ぎようとしていきます。早速ではあります。後半の活動の準備に入ります。

九月初旬には大祭があり、準備等に入ります。（祭礼踊りの練習もありませんので、多くの皆様のご参加をお願いいたします）なお、毎月の廃品回収については従来どおりに行ないます。皆様と共に絆を深めて楽しい婦人会にしてまいりたいと思っておりますので宜しくお願ひ申し上げます。ご意見・ご希望等ありましたらお知らせ下さい。

【押上駅周辺まちづくり研究会「634押上」】

細川勝也

町内会のおやじさん達で作った「むさし会」です。

2012年スカイツリー（新東京電波塔）が完成後、墨田区は、大きく変わることが予想されます。そして押上周辺はどうなるのか。スミダの中心となるいわば「へそ」である。地元のおやじさん達や若者たちは毎日のようにそのことで論じあっています。

東京スカイツリー、東武鉄道（株）のご了承を頂き、インフォメーションコーナーを仲町会に設置することになりました。東京スカイツリーを訪れる観光客の方々に、押上界隈の良さをPRし、商店街の活性化ならびに住みやすい町づくりを企画しています。ともかく、我々おやじ達は、地域の人たちと一緒に頑張りていきますので、よろしくお願ひいたします。

皆様方にご協力頂き運営して行こうと考えっております。皆様方のご協力、ご助力宜しくお願ひいたします。

東京スカイツリー  
インフォメーション  
コーナー  
墨田区押上1-22-3  
地下一階



【しらとり子供会】

小林さか江

今年度、押上子供会会長を務めさせていただきます小林です。どうぞよろしくお願ひいたします。町会の皆様には、日頃より子供会に対し深いご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

年度始めは二世帯三名（一年生、三年生、四年生各一名ずつ）のスタートでしたが、登校班にのみ加わってありました一年生も六月より新たに会員となり、三世帯四名となりました。一年生が二名になり少子化に悩む子供会にとりましては喜ばしいかぎりです。

五月三十日（日）業平小学校連合子供会対抗ドッジボール大会が行われました。子供たちにとっては初めての競技でしたが、他子供会と合同で、保護者を交えての二十五名のチーム戦はとても充実したゲームとなりました。

今年度は四名と少ない人数での活動となりますが、町会、地域の皆様のご協力の程を、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

# 【秩父札所めぐり(6)】

石田輝雄

平成六年六月二日(木曜日)晴れ  
 秩父札所めぐりを始めて今回で五回目になる。一番寺から二十四番寺までお参りをした。今回は二十五番寺から二十七番寺までとしよう。だんだんにお寺の在る地も遠くなるので多く巡る事はできないから、天気は上々。押上から池袋までいつものコースいつもの時刻で到着する。今日最初のお寺二十五番寺は秩父鉄道の浦山口駅下車が近いので三峰口まで行く直通急行電車に乗る事にした。一頃だったら西武鉄道で終点の西武秩父で下車し、西武鉄道のお花畑から三峰口行きに乗らねばならなかったが、今は相互乗入れか、池袋から直接三峰口まで行く電車が一日数本出ている。便利になったものだ。五番線ホームで電車を待つ。それにしても数本おきに到着する西武電車の乗客は超満員であり、ホームは人人人の流れであり之が東京の主要駅の一つと言う訳だ。発車は八時三十六分。普通の通勤電車と同じであり特急電車との比較は出来る訳も無い。車内はガラ空きである。之はのんびり出来るわい。横になって座席に足を伸ばして。ところが電車が所沢に着いた途端、スピーカーを聞いて、大きなリユックサックを担いだ男女中学生の団が一斉に乗り込んで来た。中学一年生で之から正丸駅で下車し登山訓練の後一泊するのだと。車内を動き回るし、つり革にはぶら下がるし、ピーチクパーチク、何とも賑やかである。この急行電車は八輦編成。小手指に着いて前二輦が切り離され六輦となった。正丸に到着。漸く中学生の団が下車。最後に女性教師が「お喧しゅう御座いました」と会釈して降りて行った。車内は再び静けさがもどってきた。横瀬で前三輦が寄

居行きとなり、後ろ三輦が三峰口行きとなり。寄居行きは右へ、三峰口行きは左に進行。十時三十八分浦山口へ到着、下車し右の改札を出る。改札の駅員に大体の道順を教えてもらう。左へ歩いて坂道を下る。やがて国道一四〇号線に出た。左へ進む。荒川の支流に架かる常盤橋を渡り信号のある所から右折する。荒川に架かっている久那大橋を渡る。此の辺りは荒川と言っても上流だから川幅も狭く水量も少なく又静かな風景でもある。人も車も通行も殆ど無いに等しい。しばらく歩くとT字路。前回最後にお参りをした二十四番寺法泉寺前の通りである。其の所を左折。向角が久那小学校。やがて石標右へ入る。細い道を進むと山門。少し歩くと左側に観音堂。その右前の池が弁天池。池の辺り竹林に囲まれた静かな所に本堂。伝説によると此の地に悪い性格の女がおり夫や村人達からも見放されて一人岩屋に住みついて、女の子を産み十五才まで育てて亡くなった。子の女の子は母親に似ず清い心の持ち主で、自分を育ててくれた母親の菩提を弔うために観音堂の建立を思い立ち、村人達もその思いに心うたれて協力し、やがて観音堂が建立されたのが此の寺の草創であると言われている。と又閻魔大王から授かったと言われる御手判石があることから御手判寺とも呼ばれている。十一時三十分に着いたから丁度お参りを済ますまで十五分位か。二十五番札処(曹洞宗)岩谷山久昌寺。御本尊は聖観世音菩薩。さて浦山口の駅から荒川を越した所が久昌寺だが、之から向こうの二十六番寺は荒川のこちら側になる。従って今来た道を途中まで戻る事になる。久那小学校の在るT字路へ来てT字路を右折直ぐ二股路を左に進む。此の道は全く静かで車は勿論人も殆ど歩いて居ない。道の両側に所々桑畑があり。赤い

実をつけている。一つ二つ取り口へ入れる。甘酸っぱい味。少年の頃食べた思い出がよぎる。下久那と言う所らしい。久昌寺を出てから三十数分は経つたろうか。荒川に架かる柳大橋に出た。しばらく進むと上り坂になり右へ大きく曲がる。やがて左に急カーブ。まだ道は上りだ。間も無く国道一四〇号線に出た。左へ曲がる。少し歩いて右へ折れる。秩父鉄道の無人踏切を渡る。右手を見ると影森のホームが見えた。突き当りを左へ行くと右手の山の麓に二十六番寺があった。本道は間口八間程の大きな建物。右手の庫裡も白壁造りの新しい建物だ。十二時四十分着。お参りを済ませ。境内を歩いて頂く事を断り。此処で昼食する事にした。携帯コンロを出しセットし湯を沸かす。水割りを少々食前酒として頂く。家内が朝作ったむすびもインスタント味噌汁も何ともおいしい。誰も来ない。小一時間ゆっくりと休んだ。此処円融寺の観音堂は岩井堂と言って本堂から三分程の山の中腹の懸崖の上に建っている。今までめぐってきた霊場はゆるやかで苦しいと思う様なことは無かった訳だが、此の観音堂への道程は霊場のもつきびしさがある。きびしい山間の道故に円融寺にだけ参詣し態々此の観音堂までお参りに来る人は最近には特に稀だとの事。然し札所めぐりを始めて手抜きをしたのでは何の功德にもなるまい。心をひきしめて之から岩井堂を目指して登る事にする。十三時十分出発とする。寺を出て左に進みT字路を左へ左側に昭和電工の通路を行く(昔は小道だったが今は昭和電工が建つて其の中になってしまった)正面に村社琴平神社。道標に従って右へ進むと態々山間部へ入る。杉木立の小道を行く。やがて苔むした三百余段もある石段が山の中腹へ続いて入る。石段を上り切ると左へ折れて自然石の段

になる。漸くそれを登りつめたら山の中腹の懸崖の上に装飾もされた観音堂。江戸中期の建築の由だが如何にも自然の風景の中に融合し落ち着いた美しさである。秩父札所屈指の霊場で秩父の清水寺と言われている所。岩井堂の裏に閻魔大王等の石仏があった。十三時四十分到着した。

続く

## 【OST】

OSTの皆様お変わりありませんか。これから暑さがますます強くなつて来ます。身体には記を付けてお過ごし下さい。さて五月には総会があり二十五名参加でその後、誕生会もあり。お弁当を食べてお話をしたりして、楽しい時間を過ごしました。それから六月十六日に墨老連演芸大会に出演するためコーラスの練習をやり始めました。当日に着るベストを中村さんに縫って貰いました。一曲はドレスで二曲目がベストに帽子をかぶって歌いました。応援に来て下さった方達がとても服装が変わって居て、よかったですと言ってくれました。歌はもちろんです。

六月二十三日には南房総「鴨川シーワールド」へバス旅行に行きました。途中雨が降り出しましたが、傘は差さなくて良い位でした。小泉酒造に寄ってお酒の試飲をしたりして良い御キゲンになった人も居ました。それからロイヤルホテルに行き海鮮料理を頂き、その後「鴨川シーワールド」に行きシャチャイルカのショーを見て楽しんで来ました。



## 【編集後記】

タワー工事が「日常の光景」の地元住民からすると、連休中の溢れるほどの見物客は、押上ではありえない異常な状況だった。世間の関心の高さを、改めて認識する出来事だった。夏休みを控え、更には完成までの時間を考えると「凄い事に・・・」と言っているだけでは何も解決しない。とりあえず町内にもインフォメーションが開設される事になったそうだ。一度、皆さん伺ってみてはどうでしょうか。面白い情報が得られるかもしれません



東京スカイツリーが398mになりました。